

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 12 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (18)	現在コロナ禍により外出制限があり、入居者様の活動が制限されている。それに伴い活動量の減少(外出の機会が殆どない状況)が続いており、ストレス・意欲の低下等様々な要因が上げられる。	中庭のスペースを活用し、週2回は外に出る機会を設ける。3ユニットある為 ユニット毎に分け、午前と午後と対応する。	花ユニット:月・水 彩ユニット:木・土 雅ユニット:金・日 中庭でのおやつ・外気浴を行う。	12ヶ月
2	1 (1)	企業としての理念・行動指針を掲げているが、それがグループホームに沿ってはいない様に感じる。 もっと親近感のある グループホームらしい理念の作成が必要である。	グループホームとしての(独自)理念を考え、職員が共感できるものを作成し、共有し事業の運営にあたる。	各ユニットにおいて何が良いのか 意見を出してもらい、作成する。	2ヶ月
3	35	災害対策について、備蓄はあるが十分な量とは言えない。何か災害が起これば、本社より物資が届くシステムにはなっているが、事業所として十分に確保しておく必要がある。	備蓄を増やす。(防災頭巾・コンロ・オムツ・飲料水・食料・衣類等)日ごろからの防災対策(様々な災害を想定した上で防災訓練の実施)	備蓄の量の把握。一覧表にして管理。 足りないものは、揃え使えるようにしておく。	3~6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。